

経営者との協働経験が豊富な 第一線の実践者たちが伴走支援を行います

111名の協働プロ・協働サポーターが在籍。企業の第一線で活躍する、
各分野のプロフェッショナルを複業人材としてマッチング。
最適なチームを組成し、プロジェクトをサポート。

マーケティング、ブランディング、販売促進



若山 幹晴
Masahiro Wakisaka

ポケット(株)取締役CMO
(株)ワカバル 代表取締役
(株)協働日本CMO

専門 マーケティング、ブランディング、
PR、人材育成



向縄 一太
Shinya Sakamoto

花王(株)
シニアマーケター

専門 事業戦略、マーケティング戦略、
商品開発、市場調査(消費者インサイト発掘)
資格: 日本マーケティング協会認定、
マーケティング・マスター



笛田 健人
Kenji Furuta

(株)EXEDEN CEO
(株)LeanGo COO

専門 事業戦略、マーケティング戦略、
経営企画、開発ディレクション



伊木 優希
Yusuke Inoue

フリーランスマーケター

専門 事業戦略、ブランド戦略、
マーケティング戦略、商品開発戦略



横町 暢洋
Masahiro Takemoto

大手電機メーカー
シニアマネージャー

専門 ITを活用した業務改善・効率化、
ソフトウェア開発、
サービス事業開発・運営

事業開発



藤村 昌平
Masahito Fujimori

ライオン(株)
ビジネスインキューション部長
(株)協働日本CSO

専門 新規事業開発、
新規事業開発組織設計と運営、
新規事業創出プログラム設計と運営
新規事業担当育成



小谷 克秀
Kiyohiko Kobayashi

(株)レアショップ
プロダクトマーケティング営業部長

専門 新規事業開発、事業運営、
事業企画、営業企画、
新規事業担当育成



大西 剣之介
Kenji Ohtani

パリエンスホールディングス(株)
人事部長
(株)協働日本CHRO

専門 人事制度設計・改革、人材開発、
組織開発、コーチング



岸本 雅樹
Masahito Kashiwagi

ヤフー(株)コーポレートグループ
ビジュアルペリフォーマンス部長
ビジネスパートナーPD本部 本部長

専門 人事制度設計、人材開発、
組織開発



芹沢 亜衣子
Ayako Inoue

PwC Japan合同会社
人事部マネージャー

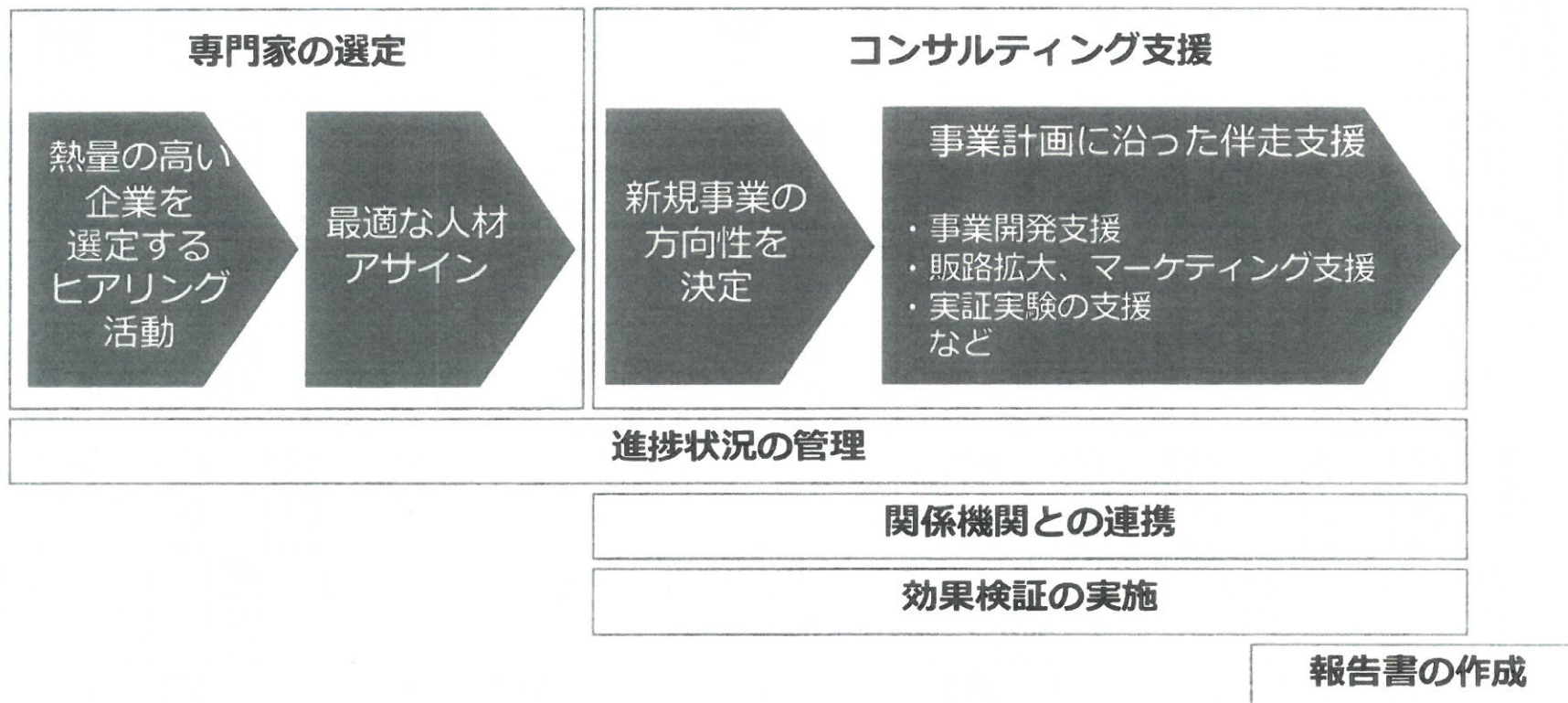
専門 人事制度設計、人材開発、
組織開発、I&D推進

各分野におけるプロ人材の伴走支援により、以下2点を実現

- ① 2022年度内に10社以上の企業における新規事業ローンチ
- ② 「単独で新規事業推進が可能な企業体質」へアップデート



対象となる企業の選定からプロ人材をアサインし、
熱量の高い企業を選定することで、
質の高い新規事業創出を実現していく



■ 伴走チーム体制の例（3名程度のアサインを想定）



<新規プロダクト/サービスの開発の場合>

事業開発のプロ	事業開発のプロ、全体管理
 <p>藤村 昌平 ライオン（株）ビジネス インキュベーション部長 /（株）協働日本 CSO</p>	 <p>村松 知幸 （株）協働日本 代表取締役社長</p>

+1名
対象企業の
領域のプロ

<新規顧客開拓/チャネル開発の場合>

マーケティング、ブランディングのプロ	事業開発のプロ、全体管理
 <p>向繩 一太 花王（株） シニアマーケター</p>	 <p>柳川 雄飛 （株）ヒトカラメ ディア ディレクター</p>

+1名
対象企業の
領域のプロ

<事業のデジタル戦略策定を実行する場合>

デジタル領域のプロ	事業開発のプロ、全体管理
 <p>横町 暢洋 NECソリューション イノベータ（株） シニアマネージャー</p>	 <p>小谷 克秀 （株）プロゴス 営業本部 マーケティング 営業部 部長</p>

+1名
対象企業の
領域のプロ

■ 新規事業の方向性決定、要件定義について



協働プロのサポートの下、実現までのスケジュールや施策を 対象企業側とワンチームとなって描き、実践する

POINT

協働プロが思考プロセスのすべてを担うのではなく、
対象企業がより主体的に活動するようなプロセスにすることで、
企業内に再現性あるノウハウとして蓄積させていく。

▼ 実現したい未来を徹底的にヒアリング



▼ ライブコマースを企業が実践している様子



烧耐業界の大きな社会課題である「烧耐粕」の活用をテーマとした新規事業開発を支援。養殖魚のブランド化に着目し、大手商社とSPL液製造販売の事業化が決定。鹿児島発のサーキュラーエコノミーモデルを創出

伴走企業プロフィール

会社名：株式会社栄電社
 所在地：鹿児島県鹿児島市
 事業内容：発電機や上下水道地図管理、
 気象・環境・精密測定機器など

具体的な伴走成果（一部抜粋）

- ・大手商社との魚の養殖領域における事業化が決定
- ・乳牛への活用等で事業化が決定

伴走内容/伴走の様子

同社では産業廃棄物である「烧耐粕」の活用をテーマとした実証実験を過去から行っていたが収益性のある事業化はできていなかった。徹底的に実証結果を分析し、SPL液を使用した魚の養殖、ブランド化での大手商社との商談が成功。2023年春以降、本格的な事業化。

▼現地視察/打ち合わせの様子



▼烧耐粕乳酸発酵液(SPL液)を飼料・肥料として利用



